

平田頭首工位置図

S=1:10,000



令和8年度 計画変更 基幹水利施設ストックマネジメント事業 平田地区

計画一般平面对比図（変更 概要図）



頭首工
【工法変更】

仮設工（河川内仮締切等）について、当初、河川管理者へ協議を行い、他現場のゲート補修実績に基づき簡易的な止水板による仮締切を計画していた。しかし、実施設計時において詳細協議を行った結果、河川管理者より、河川改修事業関係例規集（基準雨量や不等流計算）に基づく仮設計画とすること、仮締切内は仮締切天端高と同じ高さまで盛土すること、流水方向に対して大型土のうが直角とならないように設置するなど、流出防止対策等の指示があったことから、今回、仮締切に必要な土量（中詰土及び盛土）や大型土のう袋数が大幅に増加したことによる事業費の増。

また、ゲートの更新については、当初2ヶ年施工を計画していたが、実施設計時に三者検討会を行った結果、想定よりも河川流量が多く、仮にゲート2門の仮締切を行った場合、河川水位が急激に上昇し周辺の河川構造物等への影響があること、また、非出水期間中（11月～5月まで工事期間約7ヶ月）での施工となるが、ゲート1門あたりのシリンダー更新・塗装・部品交換等の作業に最低4ヶ月かかり、非出水期間内での工事完了が困難であることが判明した。このため、今回、令和7年度に右岸側起伏ゲート（1門）及び右岸側取水ゲート（1門）の施工を実施し、令和8年度に中央起伏ゲート（1門）、令和9年度に左岸側起伏ゲート（1門）、左岸側取水ゲート（1門）及び操作室（油圧ユニット交換）の3ヵ年計画としたことから、仮設工の設置・撤去に伴う事業費の増。